

(1) 今いるディレクトリを調べなさい.

(2) 今のディレクトリとそれ以下の階層のファイルの構成を調べなさい。

./040517/dir1 (以下省略)

コマンド：[] ←ファイル名の入力にあたって、最初の数文字(たとえば hel)まで入力した時点で「tab」キーを押すとあとのファイル名を補完してくれるので覚えておくと楽！

(1) 本日の 040524 というディレクトリを作成しそのディレクトリに移動しなさい

(2) 「% cp -r /homer/se/tea/rejohea8/lesson/wild .」でサンプルファイルをコピーして，教科書 p.18 からのワイルドカードの使い方を練習しなさい。

(3) 「% cd」でホームディレクトリに移動し「show」ではじまるファイルの詳細内容(アクセス権等)を表示.

* showname には showname.c にはない実行権があることに注意.

(4) 「show」ではじまるファイル (showname と showname.c) 2つを 1 コマンドで 040510 ディレクトリの下に移動する

(5) 「0405」ではじまるすべてのディレクトリ以下のファイルを階層表示しなさい。

コマンド: []

(1) 本目の 040524 というディレクトリに移動しない。

(2) 2004 年のカレンダーをファイルに出力して cat で中身を確認する.

(3) 2000 年から 2002 年までのカレンダーを calall にまとめて cat と more の 2 種類の方法でファイルの内容を確認する. (「>>」を使用するとファイルへの追加書き込みとなる.)

コマンド: [] [] []

*ここで、再び `cal 2000 > calall` とすると 2000 年だけのカレンダーになることを確認.

【emacs の練習】 p.65 の表をできるだけ覚えよう！

- (1) `name.txt` というファイルを作り、自分の名前を記入する。
- (2) `address.txt` というファイルをつくり、自分のメールアドレスを記入する。
- (3) `phone.txt` というファイルをつくり、自分の電話番号を記入する。
- (4) 上記 3 つのファイルをまとめて、`profile.txt` というファイルを作る。
- (5) (`% cat ファイル名 >> profile.txt` というコマンドを使用)
- (6) `profile.txt` を `emacs` で開いてメールアドレスが記入してある行を電話番号が記入してある行の後に持ってくる。

範圍指定開始：〔 〕

コピー：〔 〕 削除：〔 〕

ペースト（ヤンク）：〔 〕

【入力を端末から入力して足し算をする C プログラム】

- (1) 下記のプログラムを `wa.c` という名前のファイルで入力してコンパイルし実行しなさい。
(1回目はイタリック体の部分はなしで、2回目はイタリック体を付け加えて実行してみてください.)

=====プログラム始まり=====

```
#include <stdio.h>

main()
{
    int a,b,c;
    printf("INPUT DATA a:");
    scanf("%d",&a);
    printf("INPUT DATA b:");
    scanf("%d",&b);
    c=a+b;
    printf("a+b=");
    printf("%d\n",c);
}
```

=====プログラム終わり=====

【Advance】(a)は宿題とする．（入力は一整数しかできず，商は切り捨て表示となる．）

- (a)上記の和を計算するプログラムを改訂して、差、積、商も出力するようにしなさい。
- (1)元のプログラム `wa.c` を `shisoku.c` というファイル名でコピーする
 - (2)`emacs` で `shisoku.c` を開き、コピーとペーストを使用して、編集する
 - (3)コンパイルして実行
- (b)%bc で計算させたいプログラムを `bc_infile` に記載して、`bc_infile` から入力して実行してみてください。
- コマンド：「`bc -l <bc_infile`」